

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年2月1日

【四半期会計期間】 第19期第3四半期(自平成23年9月21日至平成23年12月20日)

【会社名】 株式会社エスティック

【英訳名】 E S T I C C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 弘

【本店の所在の場所】 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

【最寄りの連絡場所】 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次	第18期 第3四半期 累計期間	第19期 第3四半期 累計期間	第18期 第3四半期 会計期間	第19期 第3四半期 会計期間	第18期
会計期間	自 平成22年 3月21日 至 平成22年 12月20日	自 平成23年 3月21日 至 平成23年 12月20日	自 平成22年 9月21日 至 平成22年 12月20日	自 平成23年 9月21日 至 平成23年 12月20日	自 平成22年 3月21日 至 平成23年 3月20日
売上高 (千円)	1,330,580	1,816,103	453,429	554,693	1,760,895
経常利益 (千円)	194,235	334,479	71,965	117,453	223,473
四半期(当期)純利益 (千円)	121,510	193,979	44,016	69,840	131,869
持分法を適用した場合 の投資利益 又は投資損失() (千円)	2,029	10,215	1,560	5,825	10,580
資本金 (千円)			557,000	557,000	557,000
発行済株式総数 (株)			14,710	14,710	14,710
純資産額 (千円)			2,545,602	2,696,036	2,555,240
総資産額 (千円)			2,829,050	3,063,569	2,890,861
1株当たり純資産額 (円)			187,217.93	198,281.69	187,926.82
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	8,936.55	14,266.31	3,237.26	5,136.46	9,698.40
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
1株当たり配当額 (円)					4,000
自己資本比率 (%)			90.0	88.0	88.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	58,977	199,869			307,461
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	5,357	15,791			8,520
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	67,711	54,285			67,864
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			607,318	552,390	841,394
従業員数 (名)			60	61	58

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成23年12月20日現在

従業員数(名)	61(10)
---------	--------

(注) 1 従業員数は、就業人員数であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人数であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期会計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ナットランナ	215,828	+36.3
ハンドナットランナ	211,122	+69.4
サーボプレス	12,028	+20.2
ネジ締付装置	74,374	+3.1
修理・点検・その他	28,253	+16.1
合計	541,605	+39.0

- (注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。
2 金額は、販売価格によっております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期会計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ネジ締付装置	89,795	+25.4	191,714	+154.7
合計	89,795	+25.4	191,714	+154.7

- (注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 見込生産品については、表示しておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ナットランナ	221,860	2.9
ハンドナットランナ	215,246	+80.7
サーボプレス	14,958	+59.4
ネジ締付装置	74,374	+3.1
修理・点検・その他	28,253	+16.1
合計	554,693	+22.3

(注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。

2 輸出高の総額及び総販売実績に対する輸出高の割合は、次のとおりであります。

製品別	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	
	輸出金額(千円)	割合(%)	輸出金額(千円)	割合(%)
ナットランナ	153,561	33.9	118,392	21.3
ハンドナットランナ	56,220	12.4	67,441	12.2
サーボプレス	2,464	0.5	12,854	2.3
ネジ締付装置	739	0.2	45,731	8.2
修理・点検・その他	5,160	1.1	4,616	0.8
合計	218,148	48.1	249,036	44.9

3 主な輸出先の販売高及び輸出販売高に対する割合は、次のとおりであります。

輸出先	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
アジア	185,146	84.9	148,325	59.6
北米	19,984	9.1	65,817	26.4
中南米	7,571	3.5	25,977	10.4
その他の地域	5,445	2.5	8,915	3.6
合計	218,148	100.0	249,036	100.0

4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、当該割合が100分10未満の相手先については記載を省略しております。

相手先	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
E.SONG ENGINEERING(韓国)	58,834	13.0		

5 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した経済活動が回復基調のなか、追いつちをかけるように発生したタイの洪水問題もようやく終息しつつあるものの、欧州の金融不安による世界経済の景気減速懸念や、長期化する円高による輸出産業への逆風など、依然先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、海外市場では、中国、韓国が第1、第2四半期に引き続き活発な状況が継続しており、次いでアメリカ、メキシコの設備投資も増加傾向で推移しております。

今後も海外市場では、景気減速懸念のある中国においても省力化設備の投資需要は当面継続すると思われます。また、リーマンショック以降に需要が低迷していたアメリカにおいても、自動車の買い替え需要が本格化してきていることから、自動車メーカー各社のアメリカ国内及びメキシコ地域での積極的な設備投資が期待できます。

当社製品の販売状況におきましても同地域を中心に、ナットランナ及びハンドナットランナの販売が好調に推移しております。

その結果、当第3四半期会計期間は、売上高554百万円（前年同四半期比22.3%増）、営業利益116百万円（前年同四半期比49.4%増）、経常利益117百万円（前年同四半期比63.2%増）、四半期純利益69百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、3,063百万円と前事業年度末比172百万円の増加となりました。

これは流動資産については、現金及び預金の減少の一方、受取手形及び売掛金の増加などの影響により2,281百万円と前事業年度末比169百万円の増加となり、固定資産については、782百万円と前事業年度末比3百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、367百万円と前事業年度末比31百万円の増加となりました。

これは主に買掛金が38百万円増加した一方、未払法人税等が3百万円、賞与引当金が10百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,696百万円と前事業年度末比140百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が139百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの分析

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は552百万円となり、第2四半期会計期間末に比べて23百万円の増加となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは20百万円の収入(前年同四半期は19百万円の支出)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益117百万円などの増加要因があった一方、売上債権の増加額39百万円、法人税等の支払額57百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3百万円の支出(前年同四半期は1百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の支出(前年同四半期は0百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期会計期間の研究開発費の総額は34百万円であります。

なお、当第3四半期会計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000
計	50,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,710	14,710	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株制度を採用しておりま せん。
計	14,710	14,710		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月21日～ 平成23年12月20日		14,710		557,000		639,750

(6) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,113		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,597	13,597	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,710		
総株主の議決権		13,597	

【自己株式等】

平成23年9月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エスティック	大阪府守口市橋波東之町 2丁目5-9	1,113		1,113	7.56
計		1,113		1,113	7.56

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	113,000	119,800	106,000	117,100	113,500	101,000	102,900	109,900	108,500
最低(円)	101,500	102,400	98,000	100,000	99,500	97,000	95,000	99,900	100,200

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所マザーズ市場における株価を記載しております。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、本四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び前第3四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年12月20日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第3四半期会計期間(平成23年9月21日から平成23年12月20日まで)及び当第3四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年12月20日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び前第3四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年12月20日まで)に係る四半期財務諸表並びに当第3四半期会計期間(平成23年9月21日から平成23年12月20日まで)及び当第3四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年12月20日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	603,390	892,394
受取手形及び売掛金	1,046,070	2 748,864
製品	81,779	57,377
原材料	360,331	332,420
仕掛品	150,216	51,808
その他	63,578	47,739
貸倒引当金	24,228	18,538
流動資産合計	2,281,139	2,112,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	1 108,819	1 111,351
有形固定資産合計	522,060	524,592
無形固定資産	9,845	9,172
投資その他の資産		
その他	251,023	245,531
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	250,523	245,031
固定資産合計	782,429	778,795
資産合計	3,063,569	2,890,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,728	86,580
未払法人税等	90,228	94,000
賞与引当金	6,126	16,797
役員賞与引当金	9,000	-
その他	54,446	64,861
流動負債合計	284,530	262,239
固定負債		
退職給付引当金	83,003	73,381
固定負債合計	83,003	73,381
負債合計	367,533	335,620

	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,715,310	1,575,719
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,694,375	2,554,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,660	456
評価・換算差額等合計	1,660	456
純資産合計	2,696,036	2,555,240
負債純資産合計	3,063,569	2,890,861

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
売上高	1,330,580	1,816,103
売上原価	832,561	1,137,861
売上総利益	498,019	678,241
販売費及び一般管理費	286,199	322,307
営業利益	211,820	355,934
営業外収益		
受取利息	191	144
受取配当金	365	554
その他	829	680
営業外収益合計	1,386	1,379
営業外費用		
為替差損	18,601	18,604
その他	370	4,230
営業外費用合計	18,971	22,834
経常利益	194,235	334,479
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15,683	-
特別利益合計	15,683	-
税引前四半期純利益	209,918	334,479
法人税、住民税及び事業税	82,092	143,148
法人税等調整額	6,315	2,647
法人税等合計	88,407	140,500
四半期純利益	121,510	193,979

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)
売上高	453,429	554,693
売上原価	276,377	328,031
売上総利益	177,052	226,661
販売費及び一般管理費	99,148	110,242
営業利益	77,903	116,418
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	10	-
為替差益	-	6,259
デリバティブ評価益	100	-
その他	223	185
営業外収益合計	369	6,474
営業外費用		
為替差損	6,307	-
デリバティブ評価損	-	5,440
営業外費用合計	6,307	5,440
経常利益	71,965	117,453
税引前四半期純利益	71,965	117,453
法人税、住民税及び事業税	25,455	40,867
法人税等調整額	2,492	6,745
法人税等合計	27,948	47,612
四半期純利益	44,016	69,840

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	209,918	334,479
減価償却費	14,341	14,760
貸倒引当金の増減額（は減少）	15,683	5,690
賞与引当金の増減額（は減少）	12,701	10,671
役員賞与引当金の増減額（は減少）	9,000	9,000
退職給付引当金の増減額（は減少）	8,695	9,622
受取利息及び受取配当金	556	699
為替差損益（は益）	14,388	19,057
デリバティブ評価損益（は益）	370	4,230
売上債権の増減額（は増加）	205,539	297,206
たな卸資産の増減額（は増加）	66,254	150,721
仕入債務の増減額（は減少）	11,657	38,147
その他	14,813	27,805
小計	114,958	52,117
利息及び配当金の受取額	579	687
法人税等の支払額	56,560	148,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,977	199,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	40,000	40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	2,621	8,765
無形固定資産の取得による支出	-	4,142
投資有価証券の取得による支出	2,736	2,889
その他	-	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,357	15,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	67,711	54,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,711	54,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,388	19,057
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	28,479	289,003
現金及び現金同等物の期首残高	635,797	841,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	607,318	552,390

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期会計期間(自平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)	
会計処理基準に関する事項の変更	「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)	
棚卸資産の評価方法	棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。 棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末 (平成23年3月20日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、296,029千円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、284,834千円であります。
3 関連会社SHANGHAI ESTIC CO.,LTDの金融機関借入に対する債務保証残高 36,939千円 上記債務保証については、当該債務保証額の50%相当額につき同関連会社の共同出資者であるUNITED FAITH(FAR EAST)LTD.を再保証者とする再保証契約を締結しております。	2 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。 受取手形 9,372千円 3 関連会社SHANGHAI ESTIC CO.,LTDの金融機関借入に対する債務保証残高 37,140千円 上記債務保証については、当該債務保証額の50%相当額につき同関連会社の共同出資者であるUNITED FAITH(FAR EAST)LTD.を再保証者とする再保証契約を締結しております。

(四半期損益計算書関係)

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
給料手当 71,174千円	給料手当 72,444千円
賞与引当金繰入額 1,586千円	賞与引当金繰入額 2,084千円
役員賞与引当金繰入額 9,000千円	役員賞与引当金繰入額 9,000千円
退職給付引当金繰入額 2,525千円	退職給付引当金繰入額 2,299千円
研究開発費 70,243千円	貸倒引当金繰入額 5,690千円
	研究開発費 77,441千円

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
給料手当 23,037千円	給料手当 25,045千円
賞与引当金繰入額 1,586千円	賞与引当金繰入額 2,084千円
退職給付引当金繰入額 1,289千円	退職給付引当金繰入額 581千円
研究開発費 27,738千円	貸倒引当金繰入額 381千円
	研究開発費 34,118千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 658,318千円	現金及び預金 603,390千円
預入期間が3か月超の定期預金 51,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 51,000千円
現金及び現金同等物 607,318千円	現金及び現金同等物 552,390千円

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成23年12月20日)及び当第3四半期累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	14,710

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	1,113

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	54,388	4,000	平成23年3月20日	平成23年6月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社に関する事項

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)	
持分法を適用した場合の投資損失の金額	2,029千円	持分法を適用した場合の投資損失の金額	10,215千円

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期会計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	
関連会社(共同支配企業)に対する投資の金額	30,000千円	関連会社(共同支配企業)に対する投資の金額	30,000千円
持分法を適用した場合の投資の金額	43,910千円	持分法を適用した場合の投資の金額	23,930千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,560千円	持分法を適用した場合の投資利益の金額	5,825千円

開示対象特別目的会社に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)及び当第3四半期会計期間(自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)

当社は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)		前事業年度末 (平成23年3月20日)	
1株当たり純資産額	198,281.69円	1株当たり純資産額	187,926.82円

(注) 1株当たり純資産の算定上の基礎

項目	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末 (平成23年3月20日)
貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	2,696,036	2,555,240
普通株式に係る純資産額(千円)	2,696,036	2,555,240
普通株式の発行済株式数(株)	14,710	14,710
普通株式の自己株式数(株)	1,113	1,113
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	13,597	13,597

2 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)		当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)	
1株当たり四半期純利益金額	8,936.55円	1株当たり四半期純利益金額	14,266.31円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	121,510	193,979
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	121,510	193,979
普通株式の期中平均株式数(株)	13,597	13,597

第3 四半期会計期間

前第3 四半期会計期間 (自 平成22年 9月21日 至 平成22年12月20日)	当第3 四半期会計期間 (自 平成23年 9月21日 至 平成23年12月20日)
1株当たり四半期純利益金額 3,237.26円	1株当たり四半期純利益金額 5,136.46円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3 四半期会計期間 (自 平成22年 9月21日 至 平成22年12月20日)	当第3 四半期会計期間 (自 平成23年 9月21日 至 平成23年12月20日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	44,016	69,840
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	44,016	69,840
普通株式の期中平均株式数(株)	13,597	13,597

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月2日

株式会社エスティック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 村井 城太郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 義則

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの平成22年3月21日から平成23年3月20日までの第18期事業年度の第3四半期会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び第3四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年12月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティックの平成22年12月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月1日

株式会社エスティック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 義 則

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笹山 直 孝

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの平成23年3月21日から平成24年3月20日までの第19期事業年度の第3四半期会計期間(平成23年9月21日から平成23年12月20日まで)及び第3四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年12月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティックの平成23年12月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。